

六中だより

令和4年4月8日発行

教育目標

- ・自らすすんで学ぶ人
- ・健康で心豊かな人
- ・責任を果たす人

生徒353名 家庭数338名

立川市立立川第六中学校

校長 加藤 隆司

立川市泉町786-16

TEL 042-537-3195

FAX 042-534-6954

URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh06/>

1年124名(男子61名 女子63名) 2年117(男子64名 女子53名) 3年112(男子58名 女子54名)

◆4月の重点目標「目標をたて、良いスタートを切ろう」「時間を守ろう」

立川六中の生徒であることに誇りをもって生活する一年に

校長 加藤 隆司

校長の加藤隆司です。今年度もよろしくお願ひします。着任4年目となりました。

昨年度は、各ご家庭のご理解とご協力のおかげで一年間乗り切ることができました、ありがとうございます。生徒の感染予防と学業を両立させようとする努力にも感謝の思いでいっぱいです。

今年、教職員の異動が多くありました。今まで慣れ親しんだ教員が去ることで、保護者の皆様には若干の不安を抱かれる方もいらっしゃるかとは思ひます。しかし私は、立川六中のこれまでの伝統に新たな力が加わって、さらに発展・成長する機会が来たのだと考へたいと思ひています。

先日ある教員が、何年も前の学校が落ち着かない時代の話をしてくれました。その頃も本校の大切な歴史ですが、その時代をきっかけとして、先輩の教職員と生徒たちが一步一步しっかりと取り組んで、今日の立川六中を築き上げました。小規模な教職員の異動はこれまでもあったとは思ひますが、今年、新しい力を多く迎えることになりました。去られる教職員が、今日まで本校に与えてくれた多くの力と残して下さった伝統を、さらにこの先高めて、新たな立川第六中学校の伝統を築き上げていきたいと思ひます。

コロナとの生活が始まって3年目となります。今までの教育活動が昔のやり方になりつつあります。オンライン学習やオンライン教材、放送朝礼や三密の回避、行事のやり方など、仕方なく今までと変えたやり方が今後は当たり前となるかもしれません。

その中で大切にしたいのは、生徒同士の切磋琢磨やふれあい、思いやり、協力やぶつかり合いを乗り越える経験です。

一昨年度、一時的に学校が休校となり生徒のこれらの機会が格段に減りました。学校は学力を高める場ではありますが、それ以降、学力的な学びの機会が多様化し学びなおしや生涯学習のチャンスも充実してきています。一方で理解できない他者を攻撃する事例も多く見聞きします。

勉強だけでなくオンラインでもできる世の中で、学校に集う目的は何かと考へたら、様々な考への友と出会い、ぶつかり合い、話し合い、力を合わせて、理解しあえる力を身に付けること、困難を乗り越えられる心とコミュニケーション力を身に付けることだと考へています。

今後も教育活動にとって困難な状況は続くと思へますが、集い切磋琢磨する機会を大切にすることを基本方針としながら、安全に留意して学校経営を進めてまいります。どうか、新入生の保護者の方々も在校生の保護者の方々もご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

始業式・入学式で生徒に伝へたこと

一 何を頑張りか決め言葉に出そう

二 多様性を理解し、

支えあえる仲間を作ろう

三 マザーテレサさんの言葉を実践しよう

意識を高く保って「六中生としての誇りを持ち伝統を繋ぐ」ように頑張りてくれることを期待しています。

「思考に気をつけなさい それはいつか言葉になるから、
言葉に気をつけなさい それはいつか行動になるから
行動に気をつけなさい それはいつか習慣になるから、
習慣に気をつけなさい それはいつか性格になるから
性格に気をつけなさい それはいつか運命になるから」
マザーテレサさんの言葉から

【悩みを抱え込まずに】学校生活では、時には友からの言葉や態度に悩んだり、家庭や進路・学習で悩んだりすることもあるでしょう。そんな時、親・友・担任・養護・話しやすい教員・スクールカウンセラーなど様々な相談機関があります。遠慮なく活用して悩みを溜め込まないようにしてください。一度しかない人生、また家族や友達にとっても大切な人生です。自暴自棄になつたり溜め込んだりせず相談をしましょう。じっくりと解決に向けて取り組んでいきましょう。「悩んだらまずは相談、溜め込まない。」

今もまだ、いつ誰が感染してもおかしくない状況です。持ち込まない・持ち出さない、換気・マスク・消毒・手洗いを徹底して感染を防ぐと共に、どんな時も温かく接することのできるように心がけましょう。